

平成26年5月28日

城ノ内中学校保護者のみなさまへ

徳島県立城ノ内中学校・高等学校
校長 岩崎 洋

平成27年度からの
E S（イングリッシュ・サーフィン）の発展的解消について（お知らせ）

薫風の候、保護者のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また日ごろは、本校発展のため格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝いたしております。

さて、平成23年度より小学校5・6年生において年間35時間の「外国語活動」が必修化されています。具体的には、音声を中心に英語に親しむなかで、言語や文化について体験的な理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てることを目的としております。さらに、今後は小学校5・6年生に対して英語を教科として実施し、3・4年生では現在の「外国語活動」を行うことも検討されはじめています。

本校では今まで、毎朝の英会話学習E S（イングリッシュ・サーフィン）を用いて、さまざまな英語の音声に親しませ、日常的な英会話力を身に付ける取り組みを行ってまいりました。しかし、前述のような小学校の「外国語活動」が充実するなか、本校のE Sの果たしてきた役割が失われつつあります。

そこで、平成26年度中に設置されるCALLシステム（語学学習支援システム）が本格的に稼働する平成27年度を契機として、クラス担任が指導していたE Sを発展的に解消し、英語教員が体系的な指導を行う授業形態に再構築することとしました。具体的には、毎日15分間行っていたE Sを週2時間の新しい外国語の授業などに置き換えることとします。このため、来年度からは週33時間授業となります。また、E Sの解消にともない1時間目の開始時間を20分程度繰り上げることとします。

平成27年度の教育課程については現在検討中であり、決まり次第、保護者のみなさまには生徒を通じてお知らせしたいと考えておりますので、ご了承ください。

今後とも、生徒たちが充実した学校生活を送ることができるよう、教職員一同、一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

〈変更にもなうメリット〉

- ・クラス担任に代わり英語教員が指導することで、E Sに比べ、より専門的で実践的な英語の授業を行うことができ、「英語力の向上」を図ることができる。
- ・授業時間が増加することで、「高校課程の先取り学習」もより効果的に行える。
- ・始業時間を早めることで給食時間も早まり、適切な時間に昼食を食べることができる。